

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年2月22日(2018.2.22)

【公開番号】特開2016-174879(P2016-174879A)

【公開日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2016-058

【出願番号】特願2015-59375(P2015-59375)

【国際特許分類】

A 6 1 B 90/00 (2016.01)

B 3 2 B 7/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 19/00 5 0 2

B 3 2 B 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月12日(2018.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

前記シート 1 2 は、吸水性を有し、その裏面には、図 2 などに示すように、水溶性のり層 2 0 が形成される。この水溶性のり層 2 0 は、例えばデンプンのりをスクリーン印刷などによりシート 1 2 の裏面に印刷して形成される。シート 1 2 の裏面には、図 2 などに示すように、水溶性のり層 2 0 を介して高輝度反射層 3 0 が形成される。水溶性のり層 2 0 を設けたのは、高輝度反射層 3 0 の表面（一方の面）をシート 1 2 の裏面に剥離可能に接着するためである。シート 1 2 に水分が含まれていない状態（不使用時、保管時など）では、高輝度反射層 3 0 はシート 1 2 の裏面に接着された状態に維持されているが、シート 1 2 に水分を含ませると、この水分の一部が水溶性のり層 2 0 に達して該水溶性のり層 2 0 を溶解し、高輝度反射層 3 0 からシート 1 2 を剥離することが可能となる。本実施例では使用時にシート 1 2 を高輝度反射層 3 0 から剥離できるようにするため、シート 1 2 を吸水性の薄紙などから形成し、その裏面にでんぷんのりからなる水溶性のり層 2 0 を設けた場合を示したが、これに限定されるものではない。例えば、水溶性のり層 2 0 の代わりに感圧性接着層を設けてもよい。このようにすれば、シート 1 2 を吸水性の薄紙などから形成しなくても済む。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

本変形例の転写シール B は、図 1 (b) に示すように、全体形状がテープ状ではなく正形状である。これにあわせて台紙 1 0 a は正形状で、インク層 4 0 a によって形成される、放射線照射の部位特定のためのマーク 4 1 a は、図 5、図 7 (c) に示すように、十字状に形成されている。これらの点を除いて転写シール B は、転写シール A と同じであり、台紙 1 0 a は台紙本体 1 1 a とシート 1 2 a との 2 層構造で、図 5、図 6 (a) に示すように、シート 1 2 a の裏面側に水溶性のり層 2 0 a、高輝度反射層 3 0 a、インク層 4 0 a、保護層 5 0 a 及び接着層 6 0 a をスクリーン印刷などにより順次印刷して形成さ

れている。